

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第5号

第5週(1月27日～2月2日)

発行年月日:平成15年(2003年)2月7日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (5週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (5週)	全国 (5週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	0	44	6	693
	パラチフス	0	0	2	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	39	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	1	33	6	453
	エキノкокクス症	0	0	0	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	70	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	13	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	13	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	1	59	6	888
	梅毒	1	1	31	4	561
	レジオネラ症	0	0	12	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2)定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	36.68	40.55	40.20	28.00	42.50	37.71	26.71	36.33	
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.47	0.29	0.50	0.25	1.00	0.25	0.75	0	
感染性胃腸炎	4.06	5.86	9.17	5.75	0.40	2.25	0	0	
水痘	0.84	0.43	2.00	0.25	1.00	1.00	0.50	0	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.09	0	0	0	0	0.50	0.25	0	
突発性発疹	0.44	0.86	0.67	0	0	0.25	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.66	0	0.67	0	0.20	0.25	3.00	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	0	0	0	0	2.00	1.00	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 10 20 30 40 50
 定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

インフルエンザの定点当たり患者数が8週間ぶりに減少

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎の定点当たり患者数が増加していた。また、インフルエンザ、水痘、流行性角結膜炎の定点当たり患者数は減少していた。

インフルエンザについては、定点当たり患者数が36.68となっており先週の41.32と比較する減少していたが、保健所管内別の定点当たり患者数は26.71～42.50と高い値で推移しているため、今後のインフルエンザの発生動向に注意が必要です。また、インフルエンザの総合的な情報は <http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>に掲載されています。

感染性胃腸炎については、昨年と同様の発生状況(図1)となっており、SRSV(小型球形ウイルス)による感染性胃腸炎が発生しやすい季節であるため、今後も注意が必要です。保健所管内別の発生状況は図2のとおりです。

図1: 感染性胃腸炎の発生状況

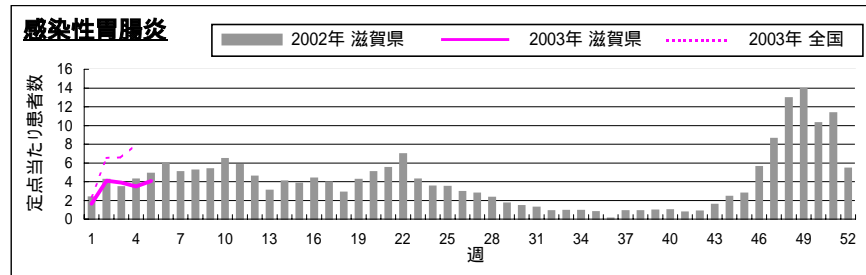
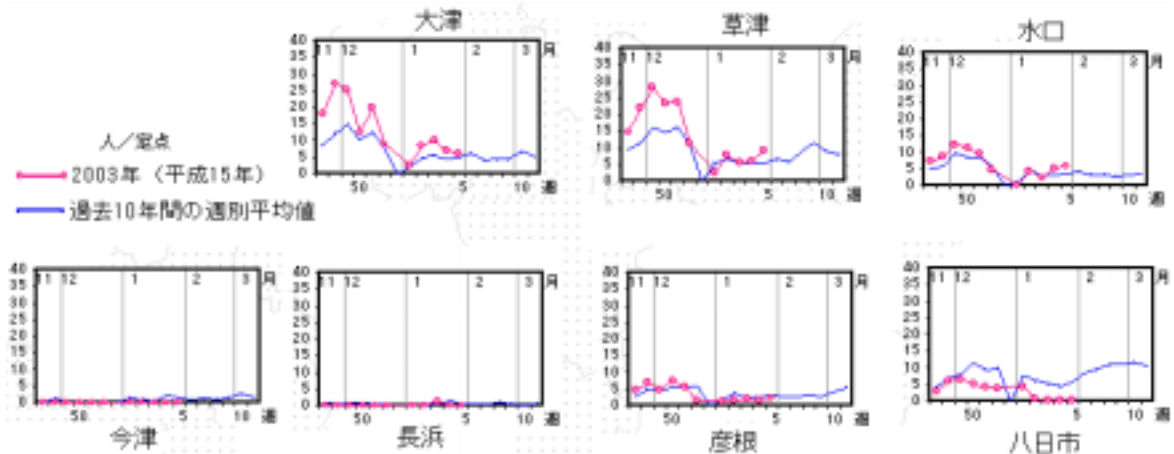


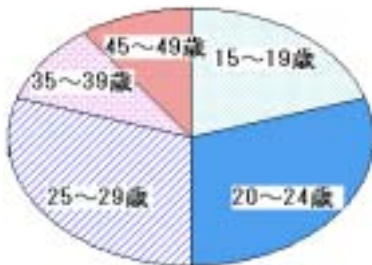
図2: 感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(平成15年第5週)



4) 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況

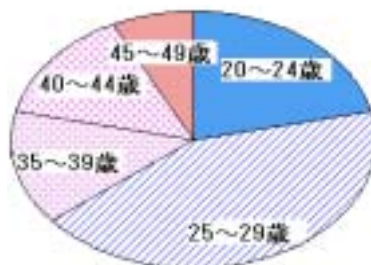
月別・疾病別発生状況については別添グラフ参照。
年齢別・疾病別発生状況については下記のグラフのとおりです。

性器クラミジア感染症



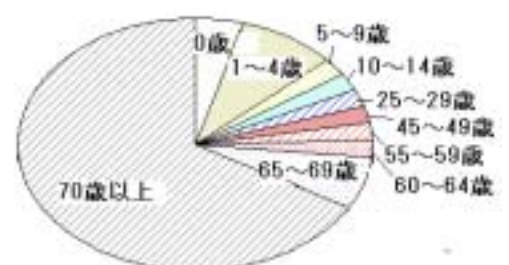
45～49歳	18.0%
40～44歳	18.0%
35～39歳	38.0%
30～34歳	38.0%
25～29歳	38.0%
20～24歳	38.0%
15～19歳	28.0%

淋菌感染症



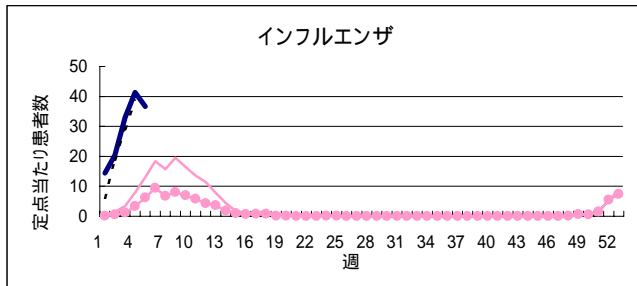
45～49歳	9.1%
40～44歳	14.3%
35～39歳	14.3%
30～34歳	42.8%
25～29歳	42.8%
20～24歳	21.4%

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

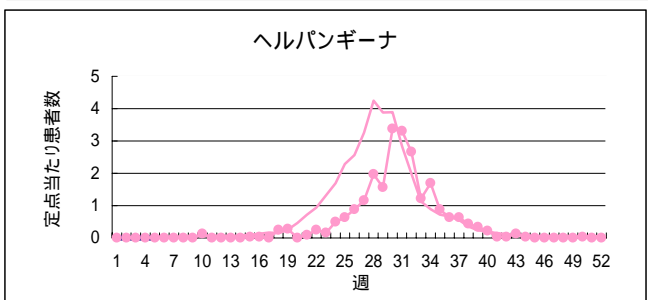
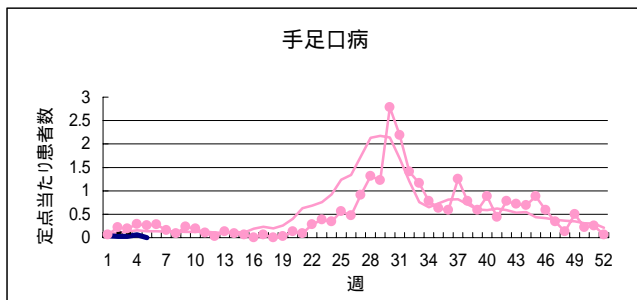
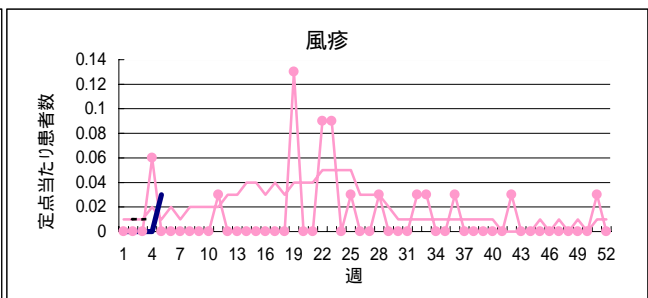
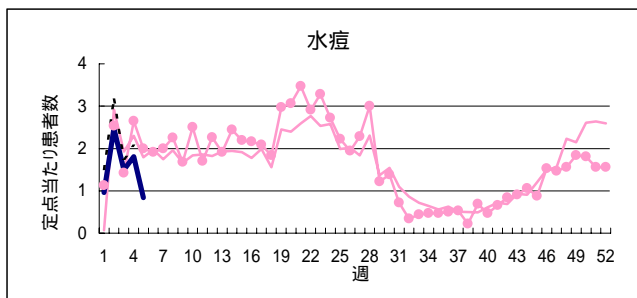
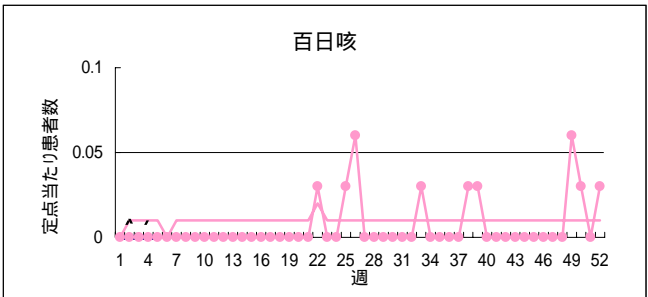
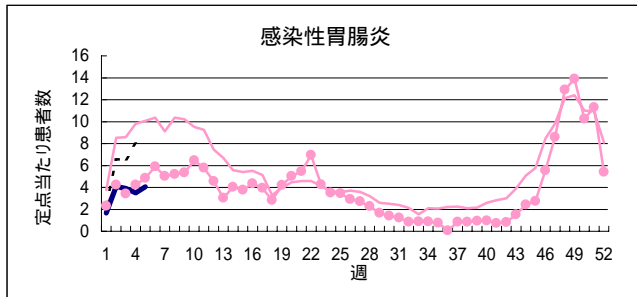
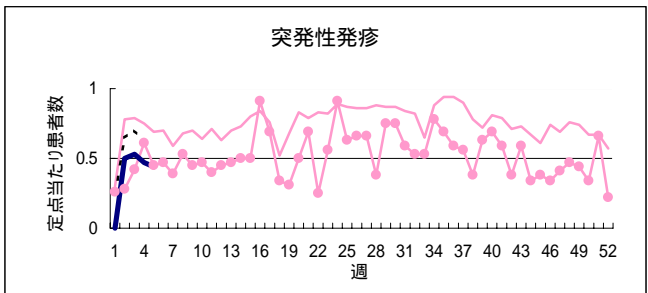
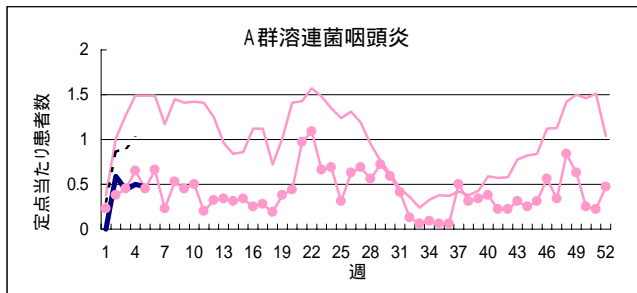
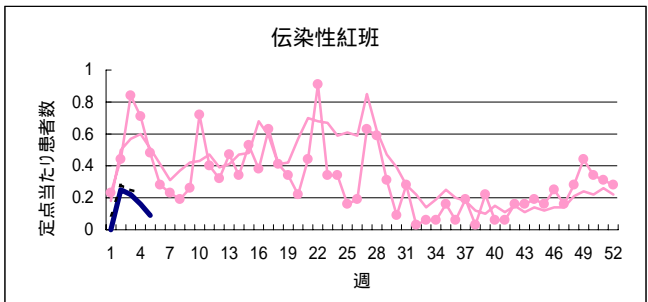
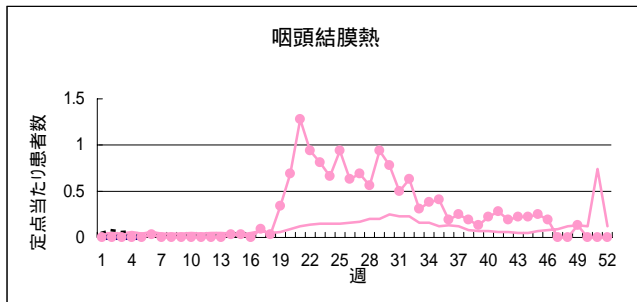


25～29歳	2.2%
20～24歳	2.2%
15～19歳	2.2%
10～14歳	2.2%
5～9歳	2.2%
1～4歳	8.8%
0歳	4.4%
70歳以上	68.7%
65～69歳	8.7%
60～64歳	2.2%
55～59歳	2.2%
50～54歳	2.2%
45～49歳	2.2%

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第5週)

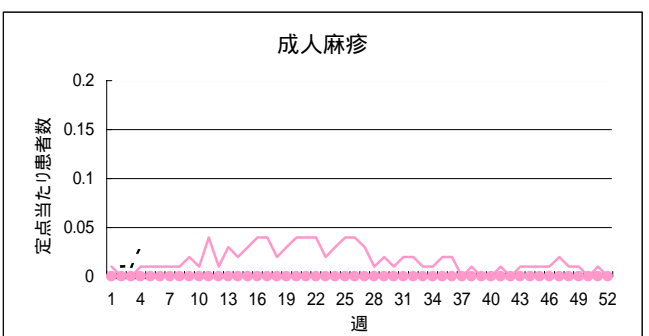
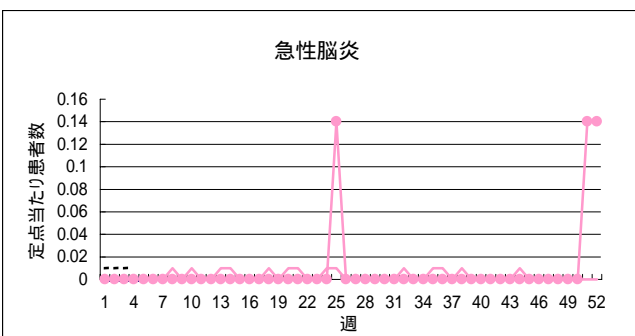
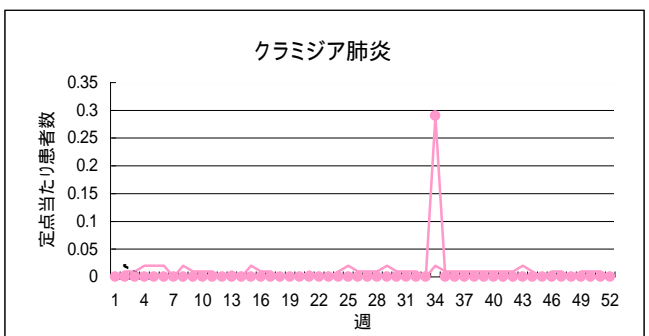
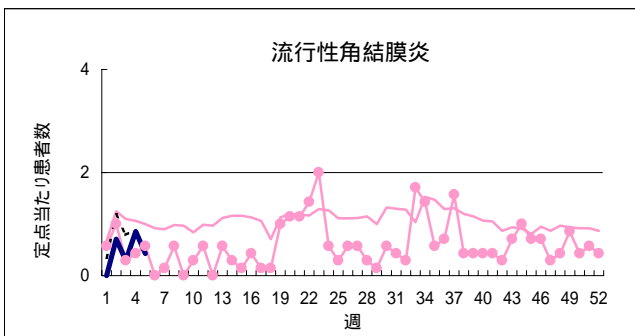
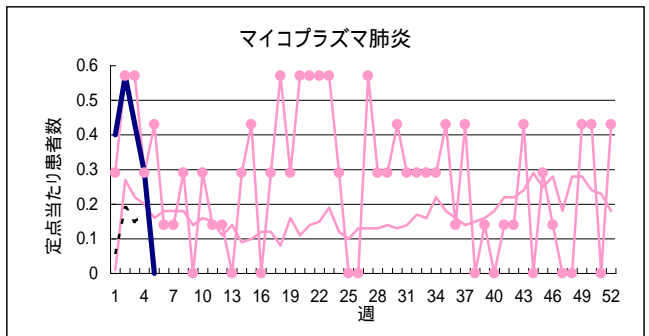
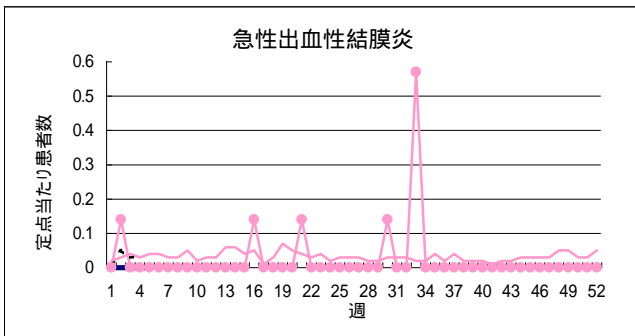
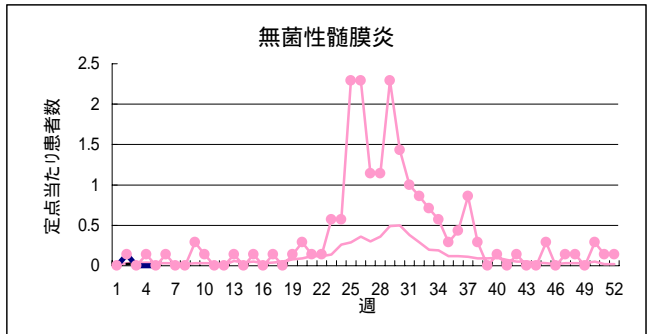
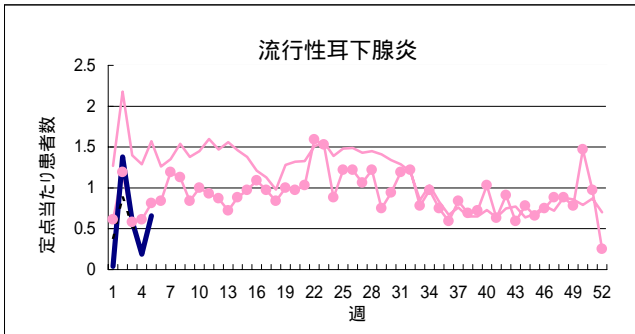
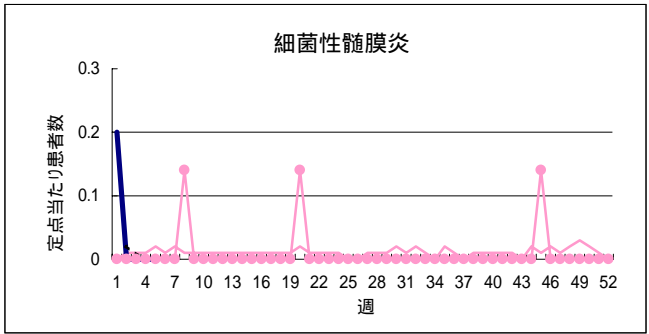
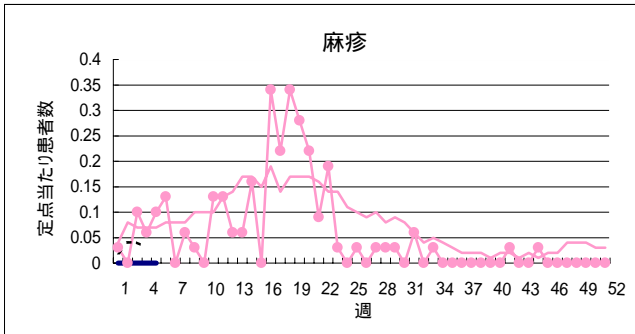


H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (pink line)
 H15 { 滋賀 (blue line)
 全国 (dotted line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第5週)

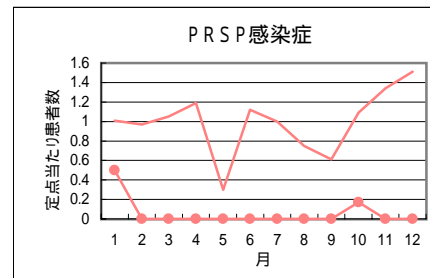
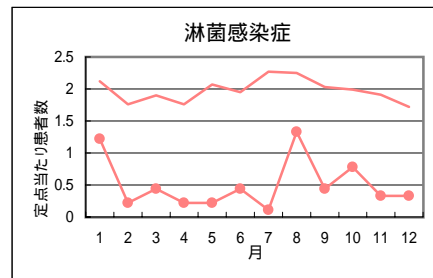
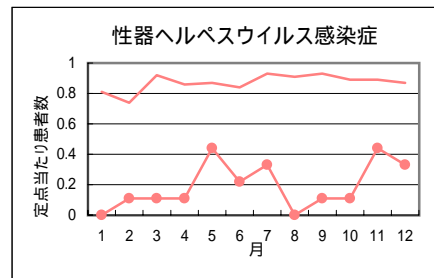
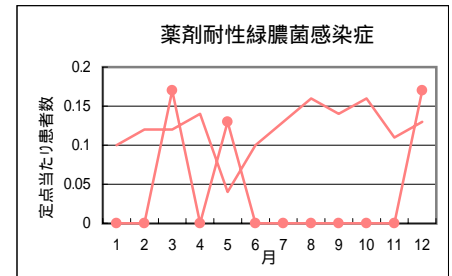
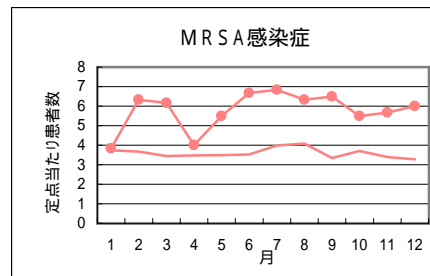
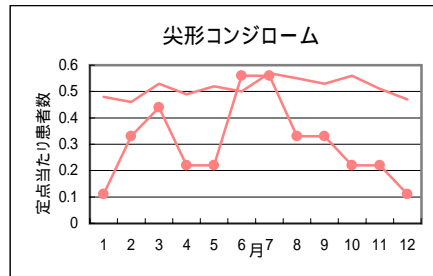
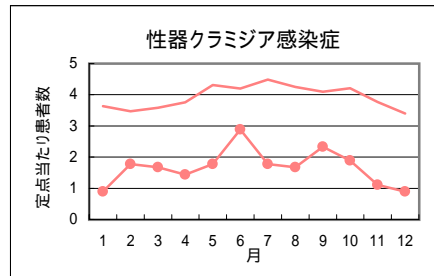
H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - -



性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

1 月 報 (集計期間:平成 15年 1月)

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	10												10
	定点当たり	1.11												1.11
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1												1
	定点当たり	0.11												0.11
尖形コンジローム	罹患数	1												1
	定点当たり	0.11												0.11
淋菌感染症	罹患数	14												14
	定点当たり	1.56												1.56
MRSA感染症	罹患数	45												45
	定点当たり	6.43												6.43
PRSP感染症	罹患数	1												1
	定点当たり	0.14												0.14
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0												0
	定点当たり	0												0.00



* H15年のデータはグラフに表示されていません。

H14 { 滋賀 ●●●●●
 全国 ————
 H15 { 滋賀 ————
 全国 ●●●●●

MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP感染症:ペニシリン耐性肺炎球菌